

学校だより 11月号

令和3年11月1日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

TEL 048 (548) 1004
FAX 048 (547) 1467
URL
http://koya-e-konosu.edumap.jp/
e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成



原動力は「好奇心」
～子どもの「なぜ？」「どうして？」を大切に～



校長 池澤 道弘

10月に入っても最高気温が夏日を記録するなど、今年の秋は季節外れの暑い日が続いていたのですが、10月中旬頃から一日の寒暖差が大きくなり、一気に秋が深まってきたように思います。今日から11月。早いもので2学期も折り返しを迎えました。

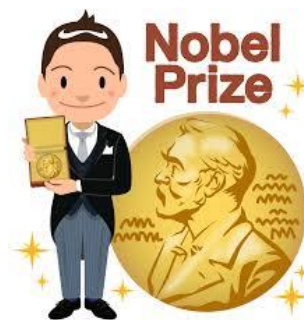
さて、去る10月5日、日本人にとって、とても嬉しいニュースが飛び込んできました。今年のノーベル物理学賞に、プリンストン大学（アメリカ）上級研究員の真鍋淑郎氏が共同受賞者として選ばれたのです。真鍋氏はアメリカ国籍を所得している日本人で、ノーベル物理学賞を受賞した日本人としては、ニュートリノ振動を発見した梶田隆章氏に次ぐ12人目（日本出身で外国籍の方を含む）の受賞となります。真鍋氏は「地球温暖化の予測に関するコンピューターモデルの開発」という、今世界で最も関心の高い分野のひとつである「環境問題」に対し、世界に先駆けて取り組んだことが認められての受賞となったのですが、真鍋氏が研究を始めた当時、現在の地球温暖化とそれに伴う様々な気候変動を誰が予測できたことでしょうか。

真鍋氏は受賞後のインタビューで「研究は好奇心から始めるべきだ。」と述べており、氏自身が「好奇心」を原動力としたことで、約60年にわたって研究を続けることができたと言及しています。ご存知のとおり、「好奇心」とは「なぜだろう？」「どうしてだろう？」と不思議に思う気持ちから始まる興味・関心のことであり、小さな子どもは特に、この「好奇心」の塊です。

だからこそ、例えば「どうしてキリンの首は長いの？」「なぜ月はまるくなったり、半分になったりするの？」など、目にした事象に対して沸き起こる疑問を即座に投げかけてきます。その際、大人の方が忙しかったり、答えにくいような内容だったりすると、投げかけられた疑問をシャットアウトしてしまうことも、少なからずあるのではないのでしょうか。

もちろん、日々忙しく生活している大人の立場も十分承知していますが、答え方によっては子どもの好奇心の芽を摘み取ることに繋がってしまう可能性もあります。学校での子どもたちの様子を見てみると、総じて学習に対する意欲が高い子は、学力の定着が図れているように思います。真鍋氏同様、この学習に対する意欲の原動力は、やはり「好奇心」なのではないのでしょうか。

『科学的な答え』だけでなく『子どもに夢を与える答え』『調べてみようとする意識を高める答え』など、答え方は一つでなくてもよいのではないかと思います。ご家庭においても、ぜひ子どもたちの「好奇心」を大切にしていっていただければ幸いです。今月もよろしくお願ひします。



<11月1～7日は「彩の国教育週間」>

県では、教育に関する理解を深めていただくため、11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日から7日までを「彩の国教育週間」としています。

今年度は感染症拡大防止の関係で、自粛されている事業もあると思いますが、例年、県や市町村、学校、社会教育施設、各種団体等で、学校公開や親子向け体験教室などの事業を多数実施しています。また、今年度は日曜日と重なってしまいましたが、11月14日は「県民の日」に定められており、平日であっても学校はお休みになります。ご家庭においても機会を捉え、「自然」「人」「本」「家族」「地域」の大切さや思い出について語り合う時間等を取ることで、教育週間を元気で明るい気持ちになる期間にしていいただければ幸いです。

彩の国教育の日

検索

詳しくは県ホームページを御覧ください。

問合せ：鴻巣市教育委員会学校支援課(TEL 048-544-1214)

：埼玉県教育局生涯学習推進課(TEL 048-830-6972)



▲シンボルマーク